

# 東京教区時報

第1157号  
2010年3月14日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇3月の代禱・信施奉献先  
▽教区青年活動のため▽いのちの電話の働きのため▽浦安伝道所・浦安宣教のため▽キッドスクール(幼稚園)のため

◇堅信受領  
2月28日 聖マルコ教会  
▽藤尾真奈(聖マルコ)

◆とこしえの平安  
12月9日 河合桂子(94)

1月16日 住田 篤(93)  
聖ガブリエル

3月6日 中村實男(79)  
聖ヨハネ

◆教役者レクイエム  
3月17日(水) 10時半  
主教座聖堂

▽司祭内田茂二▽伝道師岡本房  
説教 田光信幸司祭

神様の働きを感じる生き生きとした場面に出会えることは何にも変えがたい喜びです。そのように感じた一コマが聖十字会という集まりです。その目的はイエス様のことを若い人や新来者に聖書から噛み砕いて分かりやすく伝え、温かく迎え入れて神の交わりへと導こうというものでした。

私がこの働きとつながったのは、1997年にある会社の仕事で日本に戻り、聖公会の教会探しをする中で目白聖公会に寄った時に礼拝後に若い信徒から喫茶店に誘われてからです。目白では大学生以上の集まりが濱口さんなどの周りで出来上がっていました。私もそこに参加することができました。なお、私は目白の人ではなく

《み手のなかで》

## 一つの芽を感謝して

聖職候補生

ストーゼンバック ジョン

板橋区の聖マルチン教会に毎週通い、夕方には聖十字会の会合に出ているのが興味深いです。あとに参加してきた人も、ほかの教会の人もいました。

この働きは8年以上続きました。が、大木司祭と河野司祭が永年見守ってくださったことも大いに感謝です。皆の思いが神様の恵みのもとに合わさって、50人ぐらいも新しい人たちが教会とつながっただけでなく、教会から消えかかっていた若い人たちも教会との関係のなかにとどまることになりました。また、この会を指導していた者のうちで教会のために働こうという気持ち芽生え、何人かの人は神学校に行っています。これらのことを振り返ると、改めて神に感謝します。

(聖マーガレット教会勤務)

子▽司祭洪恒太郎▽司祭岸本隆一▽司祭伊藤堅逸▽司祭林五郎▽司祭宿谷栄▽主教後藤真▽主教八代崇▽主教斎藤茂樹▽伝道師遠藤英子

▽聖公会八王子幼稚園園舎及び八王子復活教会牧師館落成祝賀式 3月27日(土) 13時半から、感謝礼拝と新園舎・園庭のお披露目を行う。照会〓同教会

TEL 042(642)6105。  
▽カパティランのワンコインキャンペーン 1日百円玉1個のお捧げで、年間2百人の参加協力があれば、活動費の4分の3を生み出すことができること。第1期は本年1月1日から12月末まで。各教会に募金袋が配られ協力を呼びかけている。照会先〓同事務局TEL 03(3432)6449。

## 今週・来週の予定

3月14日～27日

- 14(日) 大斎節第4主日
- 16(火) 教財務サービス委員会  
信仰と生活委員会  
ハラスメント防止委員会  
臨時常置委員会  
教役者レクイエム(主教座)
- 17(水) 聖職養成委員会  
財政委員会  
城南G牧師協議会  
環状G牧師協議会  
月島・準備室  
教区企画室
- 19(金) 大斎節第5主日  
外濠G教会協議会  
山手G教会協議会  
環多摩G教会協議会
- 21(日) 大斎節第111(定期)教区会  
22(月・休) 聖餐式特別委員会  
23(火) 銀座朝聖特別委員会  
24(水) 教役者選挙特別委員会  
25(木) 主教選挙特別委員会  
26(金) 山手G牧師協議会  
正義と平和協議会

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

## 信仰と生活委員会報告

(2月23日)

- \* 宣教主事報告。
- \* 新委員紹介。
- \* 企画室古谷野亘座長より「献金啓発カード(案)」の紹介、委員から改善点等の意見が出された。
- \* 管区青年担当委員を選任。
- \* 活動協力金申請承認(山手教会グループ大斎静想会)。
- \* 今期の信仰と生活委員会活動方針策定について協議。
- \* 各教会グループ・活動グループ報告。
- \* その他。

## 正義と平和協議会

## 運営委員会報告 (2月26日)

- \* 議長報告Ⅱ日韓合同会議出席。7月に各教区正義と平和担当委員会開催の予定。

\* 今年度のプログラムを協議。

\* 憲法プロジェクト関連、祈りのポスターなど作成予定。

\* 下町大空襲記念礼拝(3月10日)、敗戦記念日祈祷会(8月15日)への協賛。

\* 管区諸プログラムⅡ社会宣教韓国の旅、日韓併合百年の旅など。

\* 正義と平和協議会便りの発行企画(5月10日発行予定)。

\* その他。

## 常置委員会報告 (3月2日)

\* 主教会(2月23～25日・熊本)は主に5月の総会関連諸議案を協議、など主教報告。

\* 植田主教「静養の件、管理牧師教会への応援態勢が整い、毎

主日に全教会で聖餐式が可能に、など主教チャブレン報告。

\* 教区会提出の会計諸表を確認。

\* 各主事の掌握事項報告を了承。

\* 教区費分担金制度検討特別委員会委員の確認。

\* 教区フェスティバル(9月20日)休・立教女学院予定 実行委員長の人選。

\* 次期監事として現任監事へ重任依頼する事を了承。

\* その他。

## 【大斎節公開プログラム】4

▽聖マリア教会Ⅰ①大斎黙想

会 23日(火)13時、ルーテル学

院大学礼拝堂。指導Ⅱ江藤直純

牧師(日本ルーテル神学校校

長。詳細照会・申込Ⅱ同教会☎

03(3492)2982。②音楽

と黙想でたどる十字架の道行き

26日(金)18時、演奏Ⅱ木田啓

介(fl)、高柳章江(S)。

## 【クローズアップ】42

## 献金のつとめ

すべての物は主の賜物。わたしたちは主から受けて主に献げたのです。(歴代誌上29・14)

毎主日の聖餐式で唱える奉献の言葉です。この言葉とともに私たちはパンとブドウ酒を献げます。パンとブドウ酒は私たちの勤労と生活の實の象徴です。

パンとブドウ酒とともに、勤労の成果として畑の作物や家畜が献げられたこともあったでしょう。しかし現代では、金銭を献げること、つまり献金が中心です。献金のうち月約献金は、教会の維持のために献げるすべての教会員の務めです。

献金については、誰もが洗

礼・堅信準備のなかで教えられているはず。しかし、ふだんの教会生活のなかで、献金に

ついて、具体的な金額の目安を含めて教えられることはほとんどありません。いくら献げたら

よいかを他人に聞くのには躊躇がありますし、聞かれた方も具体的に答えるのは困難です。

教区企画室では、植田主教様の発案・諮問により、「献金のつとめ」と題したカードを作成しました。信仰と生活・財政両委員会の意見をうかがい、定期教区会の時にお持ち帰りいただくよう準備中です。このカードでは「収入の10分の1を献げるといふ大きな理想もあります。が、現実には20分の1～30分の1を月約献金として献げることが

できれば、うれしいことです」

「学生さんや生徒さんも、お小遣いの20分の1～30分の1を献げること努めましょう」と、具体的な目安を示しています。あくまでもひとつの目安にすぎませんが、これを参考にお決めいただくことができるでしょう。

教区・教会の財政状況が非常にきびしいことはご存知の通りです。宣教活動の一層の充実を図るためにはさらに資金が必要です。東京教区よりさらに財政状況のきびしい教区を支援する必要があります。教会・教区・管区の財政的な自立のため、献金、特に月約献金を見直す機会としていただければ幸いです。

教区企画室座長

古谷野 亘